



## シンポジウム

# 坊所鍋島家文書を読みなおす

ぼうじょなべしまけもんじょ

## 佐賀藩成立期の鍋島氏と佐賀

佐賀県立図書館、東京大学史料編纂所、佐賀大学地域学歴史文化研究センター、県内自治体の研究者等により結成された「坊所鍋島家文書研究会」は、令和4年度から共同研究を実施しています。その成果報告として2回目となる歴史シンポジウムを開催します。

日時 令和7年11月8日(土) 13時～16時40分 12時30分開場

場所 佐賀大学 本庄キャンパス 教養教育1号館2階 129号教室  
佐賀市本庄町1 「佐賀大学前」バス停より徒歩3分

定員 100名 ※事前申込制、先着順

聴講無料

主催 佐賀県立図書館・東京大学史料編纂所・佐賀大学地域学歴史文化研究センター

共催 科学研究費補助金基盤研究(C) (一般) 研究課題「近世初期大名発給無年号文書群の研究資源化  
ー佐賀藩家臣坊所鍋島家史料を対象としてー」(2023年度～2025年度、研究代表者 小宮木代良)  
東京大学史料編纂所共同利用・共同研究拠点特定共同研究「近世大名家臣家史料の『読み直し』と研究資源化」  
(2023年度～2024年度、研究代表者 小宮木代良)

- ◎ 参加を御希望の方は、ウェブフォームまたは往復はがきでお申し込みください。(詳細裏面)
- ◎ 申込期間：令和7年9月22日(月)から10月21日(火)まで (郵送の場合は必着、定員に達し次第締切)

## 報告者紹介

### 報告①「龍造寺・鍋島家の御家運営と鍋島直茂・勝茂」

のした としき  
野下俊樹 佐賀県立図書館郷土資料調査・編さん課

1992年福岡県生まれ。2024年から佐賀県立図書館で『佐賀県近世史料』の編纂に従事。研究テーマは中近世北部九州の政治史など。



### 報告③「在国時における鍋島直茂・勝茂の居所」

しみず まさよ  
清水雅代 佐賀県立図書館郷土資料調査・編さん課

1964年大阪府生まれ。2003年から佐賀県立図書館で『佐賀県近世史料』の編纂に従事。関心のある研究テーマは近世期における鋳物師・鍛冶。



### 報告②「鍋島勝茂と祈禱」

いしづ ひろゆき  
石津裕之 東京大学史料編纂所

1988年山口県生まれ。2017年から東京大学史料編纂所で『大日本史料』第十二編の編纂に従事。研究テーマは、近世の宗教や朝廷など。



### 報告④「坊所鍋島家文書における蓮池城普請と作事」

おおひら なおこ  
大平直子 佐賀市文化財課調査係

1973年佐賀県生まれ。2000年から2017年まで『佐賀県近世史料』執筆委員、2012年から佐賀市役所で佐賀城や幕末産業遺産の歴史文献調査に従事。



趣旨説明 小宮木代良  
(東京大学史料編纂所)

コメント 大園隆二郎  
(藩政史研究家)

コーディネーター 伊藤昭弘  
(佐賀大学地域学歴史文化研究センター)

## 申込方法

### ●ウェブフォーム(スマートフォン・パソコン・タブレットなど)での申込み

- 右の二次元コードまたは下記のURLからお申し込みください。  
URL: <https://logoform.jp/form/jbBd/1151023>
- 1回の入力で1名のみお申し込みいただけます。
- 受付完了及び参加の可否をメールでお知らせいたしますので、次のドメインからのメールを受信できるよう、あらかじめ設定をお願いいたします。「@logoform.jp」「@pref.saga.lg.jp」
- シンポジウム終了までは、応募時のメールアドレスを変更しないでください。



### ●往復はがきでの申込み

- 1通につき1名のみお申し込みいただけます。
- 往復はがきの宛名面に下記の申込先、往復はがきの裏面に申込者の①氏名 ②郵便番号 ③住所(郵便物が届くよう正確に) ④電話番号を書いて郵送してください。

〈申込先〉 〒840-0041 佐賀市城内2-1-41 佐賀県立図書館 郷土資料調査・編さん課 宛

- 返信用はがきには、宛名面・裏面共に何も書かないでください。

### 《注意事項》 下記の事項を御了解のうえ応募ください。

- 参加の可否は10月末日までに応募者全員に通知いたします。
- 会場は全席自由です。聴講は無料ですが、事前申込みをされていない方は参加できません。
- 報道機関を除き、会場内での写真撮影・録画・録音はお断りいたします。
- 駐車場(有料、入場から1時間ごとに100円加算、最初の1時間無料)には限りがあります。来場の際は公共交通機関を御利用ください。

募集の際に得られた個人情報は、このシンポジウムに関するものにのみ利用し、それ以外の目的には使用いたしません。

## 周辺地図



※お車の方は、南門から入り、図書館北のゲートをお通り下さい。